## 一般質問から

# カーボンニュートラル（脱炭素）に向けて、省エネ住宅などの助成を

昨年政府は２０５０年二酸化炭素排出ゼロ（カーボンニュートラル）政策を発表しました。町としてどのように対応していくのか基本姿勢を質しました。

**質問**　地球温暖化の影響は様々な問題が指摘されている。巨大台風の襲来・未知のウィルスの出現・大規模な気候変動による食糧危機など人類の生存に関わるとされている。

佐々町にとっても人ごとではない。町の政策として新たな住宅建設について高断熱や省エネ・太陽光発電を推奨し、助成も行うなど検討課題ではないか。また、リサイクルについてはゴミ発電なども重要な政策課題となってくる。

こうした施策を町の基本政策の柱として、知恵を集め研究していくことが求められるのではないか。

**町長**　大変重要なことと認識している。具体的検討がまだ行えていないが、国・県とも一緒になってやりながら、検討していきたい。公用車に電気自動車とか、公共施設へのソーラーパネルの設置・断熱効果を高めるなどやっていかなくてはならない。

町としてもそういう方向性としては率先してやらなければならないと考えています。

皿山公園の菖蒲園

# 防災・減災の専任担当者を配置し、国制度の積極的活用は課を超えて横断的な検討を行うべき

大規模化する災害の防止に向け、防災・減災の事業は極めて重要となっています。専任で担当する職員がいない状況では取り組みの蓄積・継続が出来ず、今後の対応にも限界があると考え質問しました。また、国の緊急防災事業債などの「制度活用で町民の要望の強い施設の改善も可能となる」という角度での質問を行いました。

**質問**　防災を専従で担当する職員の配置を繰り返し提起してきた。それは、継続的取り組みと蓄積が求められるからだ。人の対策は検討しているのか。

**総務課長**　専従配置はむずかしい。チームを組んで知見を引き継ぎ、職員を育てていく必要があると考えます。

**質問**　専従職員を配置して、5年・10年のサイクルで人を育てていく必要があると考える。再度検討を求める。

# 国の制度を活用し避難所の体育館にエアコン設置を

**質問**　国の緊急自然災害対策事業債など政府の災害対策補助制度が今回5年延長された。この制度を活用すれば出来る事業が数多くある。ため池の保全なども対象となっている。

また、避難所のエアコンや町や中学校の体育館などのエアコン整備も可能となるのではないか。

**町長**　防災無線のデジタル化、公共施設の耐震化、ため池法面の防護などに活用していきたいと考えています。また、避難所（交流センター）のエアコンについては今回のコロナ対策として県から大型のスポットクーラーが提供されましたので、活用していきたいと考えています。

**質問**　スポットクーラーは、日常的にも活用していくべきだ。

# 町内循環バスの実現を求める

町内循環バスについては、九州でも成功事例はあるとして、研究し、具体化することを強く求めました。あわせて、タクシー券補助の制度改善が遅れていることを指摘しました。

**質問**　佐々町で高齢者に対して支給されているタクシー券補助は大変喜ばれているが、「利用期間の制限」「複数枚数利用が出来ない」など、改善を求める声を伝えてきたが、まったく手が着いていない。町内循環バスについても4年間質問しているが前進がない。意欲が感じられないではないか。

**町長**　低廉な費用で実施している事例は担当に研究させたい。

# 保育所給食はすべての子どもを無料に

保育所給食全員の無料化にはあと１０００万円あれば可能。

# 国保の均等割廃止など引下げを求める

ほとんどの町民が一度は加入する国保が高すぎる。必要なら一般財源の投入を行ってでも引き下げるべき。


**コロナ対策・心配事・お困りのことなどお寄せ下さい。**

くらしの展望を示し、希望をひらく「しんぶん赤旗」を、この機会に是非お読み下さい。
日刊紙は３４９７円　日曜版は９３０円です。見本紙をお届けします。
ご購読・見本紙のお申し込みは、永田町議まで。
電話　０９５６－３７－８８３７
ＦＡＸ　０９５６－３８－８８３８